

2012–2014 年理事長としてのごあいさつ

理事長 高見澤磨

2012 年秋の一橋大学での全国学術大会終了後から 2014 年秋の全国学術大会までの理事長をおおせつかりました。一橋大学での総会には、所属大学の用務にて欠席し、失礼いたしました。ニュースレターの場をおかりして改めてごあいさつさせていただきます。

学会のホームページをご覧いただくと「学会概要」という欄があり、ここには「日本現代中国学会の沿革と概要」という文書があります。本来ならば、このごあいさつとは別にこの部分も理事長として執筆すべきところですが、瀬戸宏前理事長がかなり詳細な文章を作ってくださっているので、私としては、これに若干手をいれさせていただき、かなりを流用させていただく形にしました。とは申しましても、他の方の文章に手を入れるというのは気を遣う作業です。まずは、気を遣わずに済んだ部分についてご報告申し上げます。

「3, 組織」の「学会の機構」という部分で、2012 年に東海部会が設立されたことを加えました。当面は、愛知・岐阜・三重・静岡の 4 県をその範囲とすることになるかと思います。この地域に所属先や住所・居所をお持ちの方は、東海部会を活動の場として活用していただきたいと思います。また、部会の区域は領土・縛張りの類ではありませんので、他の部会の活動にも気軽にご参加いただき、また、他の部会の方も東海部会の活動にご参加いただければと思います。

所属先や住所など連絡先に変更の生じた方は事務局にご連絡いただくこととなっていますが、とくに部会の範囲を超えて変更が生じた方には、それぞれ関連する部会にもご連絡いただければ幸いです。役員任期中にこうした変更が生じた場合もあり得ることですが、この場合の対処については今期の理事会で話し合っておきたいと思っております。

気を遣った部分は、「会員・会費と入会」の部分です。普通会員年会費 5000 円、団体会員年会費 6000 円を紹介したあとで、「現在では、最も会費の安い学会の一つとなっています。」という一文がありました。のこと自体はまさにそのとおりなのですが、この部分は削除させていただきました。現在学会の繰り越し額は 200 万円を切るところになり、概ね『現代中国』1 号分の額の余裕しかありません。現在の収入・支出構造ではこれが毎年さらに減ることになっています。今期理事会ではこの点についての検討と改善とを行う必要があります。支出を削減するにしても収入を増加させるにしても会員の皆様のご理解が必要になります。

まずは常任理事会にて検討を開始します。

「4，学会の当面する課題」については文書は若干変えさせていただきましたが、趣旨は変わりません。その趣旨とは、学会における研究活動の質の維持・向上が重要なこと、そのことがときに難しい問題を生じている日中関係を冷静に考える場としての学会の価値を維持・向上させることの 2 点です。本学会の会員は直接に中国に学術上の仲間を持ち、たぶん中国側の研究者も私達を仲間と思ってくれているでしょう。こうした具体的な生身の人間同士のつきあいがあれば、日本にも中国にもいろいろな人がいるのだ、という単純な道理を共有することができ、政治家の不適切な発言や激情にかられた人々の言動があっても「いろいろ」のうちに頭でも心でも処理できるはずです。

私たちは、世界第二の経済大国になったばかりの中国を観察できるという極めておもしろい立場にあります。このことについて精密な現状分析することも地球規模で数百年の長さを以て人類史の観点から論じることも本学会にとって可能なことです。こうした研究成果を全国学術大会、部会活動、『現代中国』などで勉強させていただくことを楽しみにしております。